

よく遊び！よく学ぶ！
高知で働く薬剤師



私たちと一緒に働きませんか？



高知家は、ひとつの大家業やも。
高知家

高知県の特色や 各分野で活躍する薬剤師を紹介します！

高知県ってこんな所！



面積：7,105 km²(全国18位)
 総人口：764,456人
 県花：ヤマモモ 県木：ヤナセスギ
 県魚：カツオ 県鳥：ヤイロチョウ
 ◎「日本最後の清流」四万十川があります！
 ◎ 坂本龍馬の生誕地です！

都道府県ランキング*1
1位！！

- ・カツオ消費量ランキング (県民1人あたり)
- ・「地元ならではのおいしい食べ物が多かった」ランキング
- ・実は一度も訪れたことない都道府県ランキング
- ・飲酒費用ランキング
- ・愛妻家ランキング
- ・病院数ランキング (人口10万あたり)

新鮮で
おいしいかつお♥



※1 これらのランキングは、統計に基づくもの、旅行会社調べのもの、インターネットで公表しているものなど多岐にわたります。

高知県では先進的にこんなこともやっています！

日本初

はじめ
ました

- ☆ 災害時の適正な医薬品の提供の為、**災害薬事コーディネーター**を配置し、いつか来る災害に備えています！
- ☆ 日頃の健康相談を薬局で行う **健康づくり支援薬局** 制度を導入し、地域に根差した薬局づくりをしています！
- ☆ 平時に、災害時に大活躍！お薬手帳と合わせ技で**電子版お薬手帳**の普及を行っています！(全国2番目)

高知で働く素敵な薬剤師の紹介！

勤務先・働くスタイルごとに活躍する薬剤師の紹介です。
 これを読んだら、「高知県」で働きたくなること間違いなし！



薬局薬剤師 ⇒ 2ページ

病院薬剤師 ⇒ 3ページ

在宅医療 ⇒ 4ページ

ママ薬剤師 ⇒ 4ページ

幡多エリア ⇒ 5ページ

行政薬剤師 ⇒ 5ページ

植物園 ⇒ 6ページ



貴方の未来が待ってます！

薬局

地域の人から慕われる薬剤師として

薬局薬剤師って薬局の中で働くだけの人というイメージはないですか？

薬局薬剤師は、患者さんのもとへ薬剤師が足を運ぶ訪問薬剤管理指導、児童や生徒の健全な発育を目的として活動する学校薬剤師、スポーツ競技者に薬の正しい使い方などを指導しドーピングを防止するスポーツファーマシスト、健康祭り等地域イベントでの健康相談など、薬局の外でも様々な分野で活躍できる職業なのです。

薬局では、患者さんと直接会話をしながら患者さんの状態を見極めながら服薬指導や生活指導ができます。患者さんの生活により近い位置にあるのも、薬局の魅力だと思います。

高知県薬剤師会には青年部会という、20～30代の薬剤師の集まるコミュニティーがあります。

ここでは会社や地域の違う同世代の薬剤師が、仕事や勉強の事だけではなく遊びにも本気で取り組んでいます。

病院薬剤師の若手グループとの勉強会や合同のイベントを開催し、仕事以外でも連携をとっています。

青年部会の活動もまだ始まったばかりです。これからは若い力で高知から盛り上げていきましょう！



長崎宝珠堂薬局西店
高知県薬剤師会 理事 長崎 大武

？高知家健康づくり支援薬局って？

処方箋を持っていない人でも、健康のことや薬のことをもっと気軽に相談してもらえよう、薬局の外に目印の看板をかけて、気軽に立ち寄ってもらうための取組を県全体ではじめました

目印はこの看板



患者さんが普段の生活を自分らしく過ごせるように、薬剤師としてのブラッシュアップは欠かせません



会社の垣根を越えて、若手薬剤師は仕事に遊びに全力です♡

チーム医療の一員として

私は、この高知県が大好きで、5年前から高知大学病院で勤務しています。病院勤務を始めて早くも11年が経ちますが、病院薬剤師の仕事内容は大きく変わってきています。

今の病院薬剤師は、外来だけでなく入院病棟での活動を展開し、医師、看護師と一丸になって患者さんの病気を治すことに積極的に参加しています。

自分が提案した薬物治療の方針が、患者さんの病気の好転に繋がることを目の当たりにできます。

活躍できる専門的分野もがん治療や感染制御など多岐にわたります。だからこそやりがいがあり、楽しい仕事です。

また、高知大学病院では、薬物治療の有効性と安全性の確保を目的とする臨床薬理学の研究を行っており、特にショウガや碁石茶など高知県の特産物に注目し、新しい製剤の開発や創薬への展開を行っています。

また、高知県では、病院と薬局の若手薬剤師を中心に研修会やレクリエーションを行い、楽しく交流ができる環境が整っています。「顔の見える関係で楽しく仕事が継続できる」と、評判が高く、これから若い世代の活躍が本当に楽しみです。この魅力ある、楽しい高知でみなさんも一緒に働きましょう！

最後に、平成27年度に開催される日本薬学会・日本薬剤師会・日本病院薬剤師会合同の中国四国支部学術大会は、高知県で開催されます。テーマは高知らしく、「薬学維新」！是非、みなさんで高知まで足をお運びください！



高知大学医学部附属病院薬剤部
高知県病院薬剤師会 理事
高知県若手薬剤師研究会 代表世話人
八木 祐助



(写真中央)職場のスタッフと仕事にプライベートに、メリハリをつけて充実した日々を送っています



医大薬剤部では、病院の施設とは別棟の大学院等にて、様々な研修を行っています



輸液の混合や多職種との連携は病院で働く魅力です

高知の在宅医療と薬剤師だからこそその関わり

在宅



南国病院薬剤部
高知県薬剤師会 常務理事
高知県病院薬剤師会 理事
川添 哲嗣

高知県における薬剤師の在宅訪問業務は、20年近く前から行われてきました。私も初期の頃から関わってきましたが、在宅医療というのは、本当にやりがいのある仕事です。ご存知のように高知では県民の高齢化とともに在宅医療のニーズは益々高くなっており、それに伴って在宅医療に取り組む薬剤師もどんどん増えています。

在宅訪問の際には、服薬支援の他に効果と副作用モニタリングのための体調チェックなども行います。薬局の中での聞き取りだけでは分からなかったそれらの情報を医師、看護師、ケアマネジャーらと共有し、患者さんのためにもっとも良い医療と介護の環境を整えていくわけです。まさに患者さん中心の多職種連携、チーム医療ですね。

高知が大好きな皆さん、高知の在宅医療 & 地域医療と一緒に支えていきましょう！

薬剤師として、母親として

ママ
薬剤師

産まれも育ちも高知県なので大学こそ県外に出ましたが、卒業と同時に自然と地元に戻って来ていました。

高知県では「はちきん」という言葉があります。行動力溢れ働き者の女性を指し、その言葉が表す通り働く女性が多いと言われています。それに加えて、仕事をしながらでも高知では子供が育てやすい環境にあるというのが最大の魅力であると思います。

全国的に待機児童が問題となっていますが、私が職場復帰を考えた時、高知県では保育園・託児所が充実しているので、本当に助かりました。

下の子どもは、現在病院の託児所を利用させてもらっています。子どもを安心して預けられるというのは、仕事の駆動力を何倍にも後押ししてくれます。

私は病院に勤務しはじめてから2度、産休・育休を取りましたが、勤務する病院では福利厚生がしっかりしており、希望すれば復帰プログラム（休暇中の業務の変更点等を教えてもらえる）を受講することが出来るため、安心でした。

1人目の育休明けには、子どもの病気で突然仕事を休むことが多く、周りに迷惑をかけてしまったので、2人目の時にもまた迷惑をかけてしまうのでは・・・と不安な気持ちもありました。

しかし、職場復帰後、薬局長をはじめ職場の皆は優しく、温かくフォローしてくれるので、安心して仕事を続けられています。職場に着くと安堵してしまう自分がいます(笑)

夫や両親、義両親にも協力してもらい、周りの人たちに助けられて、感謝をしながら仕事と子育て真っ最中です！



(写真右上) 近森病院薬剤部 西岡 茉奈

この地域だからできる薬剤師としての活躍

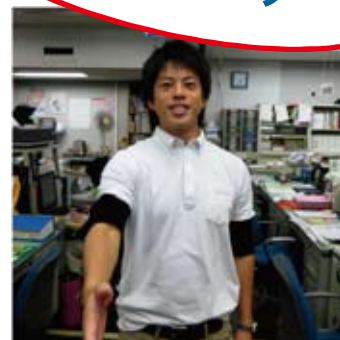
幡多エリア

私は大学卒業後、製薬会社で3年間勤務し、地元の高知県幡多郡で生活・仕事をしなくて現在幡多福祉保健所で勤務しています。

幡多エリアでは地域柄もあり、行政と地域が一体となっていると感じます。住民の方々や医療従事者の方々と顔を突き合わせて問題を解決するということが多々あり、幡多エリアの人柄の良さから来ていると自負しています。

また、週末は様々な業務で知り合った方々とサーフィンに行ったりアウトドアを満喫しています。

地域医療・地域行政等、田舎だからこそ出来ることがたくさんあります。ぜひみなさん、地域の一員として盛り上げていきましょう。



幡多福祉保健所 宮本 章平



幡多では病院と薬局が集まり、定期的に勉強会をしています。顔の見える風通しのいい環境は幡多の自慢です！

幡多エリアはこのあたり、県西部を指します



行政の新人薬剤師として

行政

私が高知県に帰って来たのは、自分のふるさと高知県で、多くの人に関わる仕事がしたいと思ったのがきっかけでした。



(写真左)
高知県安芸福祉保健所 吉岡 智美

私は現在、高知県の東部にある安芸福祉保健所で、医事薬事業務を担当しています。

薬局に関する手続きや監視指導だけではなく、診療所への立ち入り、麻薬の廃棄立会などの仕事もあります。また、学生さんと一緒に薬物乱用防止キャンペーンを行うなど、地域に根差した活動もしています。

保健所には、他にも食品や環境部門など、行政薬剤師が活躍できる分野がたくさんあります。県では異動もありますので、研究施設などでも働く機会もあります。

仕事の中で様々な経験ができることが、今からとても楽しみです。

また、仕事と休日の区別がはっきりするところも魅力的だと思っています。今年は、仲良くなった同期と一緒に、念願のよさこい踊りにも初チャレンジしました。

行政薬剤師は多くの人と関われる素敵なお仕事です。皆さんも、ぜひ高知県で働いてみませんか？



魅力あふれる牧野植物園



植物園

牧野植物園は、高知県出身で我が国の植物分類学の父である牧野富太郎博士を顕彰する施設として、56年前に開園しました。日本や世界のさまざまな植物を展示するとともに、有用植物（とくに薬用植物）に関する研究や植物にかかわる知識の普及を積極的に展開している日本を代表する植物園です。私は愛知県から移住してきた薬剤師ですが、自然も食もそして人も魅力いっぱいの高知で、若い皆さんが薬剤師としてのキャリアを花ひらかせることを期待しています。そして、折々に牧野植物園を訪ねてください。



高知県立牧野植物園
園長/薬学博士 水上 元

Iターン



最後に、一言。

公益社団法人高知県薬剤師会
会長 西森 康夫

高知で就勝(就活)！！



仕事に出会い、人に出会う、自然も人も温かい高知で地域医療を支える薬剤師として働いてみませんか。

高知県薬剤師会が全面的に支援します。
“つなげよう、ひろげよう、人の和と知識の輪”

問い合わせ先：(公社)高知県薬剤師会事務局
088-873-6429

高知県病院薬剤師会
会長 宮村 充彦



高知には、

チーム医療の中で活躍する仲間、様々な専門性を持って頑張っている先輩達、地方ならではの特性を活かし研究・教育などで様々な研鑽を重ね、新しい知見を情報発信している薬剤師が沢山います。

薬学は6年制になり、今こそ、薬剤師職能改革の時です。来たれ、薬学維新の地、高知へ！

高知県病院薬剤師会は、和を以て助け合う仲間として、様々な特性を持った施設が協働して皆様の活動を支援します。

是非、高知での活躍を期待します。

問い合わせ先：病院薬剤師会事務局
(高知大学医学部附属病院薬剤部内)
088-880-2455
<http://www.kochi-byoyaku.jp/job.html>

高知県では、県民が健やかで心豊かに、支え合いながら生き生きと暮らすことができる「日本一の健康長寿県構想」を策定し、保健・医療・福祉・災害医療の各分野の課題解決に取り組んでいます。

また高知県は、人と人のつながりを大事にし、出会った人を自分の家族のように大切に、そんな気質を持っています。

あなたも「高知家の家族として、高知を舞台に活躍してみませんか！



高知県知事 尾崎 正直

問い合わせ先：
高知県健康政策部医事薬務課
088-823-9682

写真提供元：(公財)高知県観光コンベンション協会、高知県病院薬剤師会、(公社)高知県薬剤師会、高知県立牧野植物園



高知には
 他にはない美味しい食べ物があります。
 明るい太陽と、豊かな自然があります。
 人情味あふれる方言、土佐弁があります。
 そしてなにより、熱い仲間がいます。



しっかり働き、しっかり遊ぶ。
 最高の環境だと思いませんか？
 是非、あなたの魅力を高知で活かしましょう！

第54回
中国四国支部学術大会
日本病院薬剤師会
日本薬学会・日本薬剤師会

「薬学維新の時！薬剤師職能の評価、そして更なる発展へ」

実行委員長 高知大学医学部附属病院 薬剤部
 教授・薬剤部長 宮村 充彦

会期 2015年10月31日(土)・11月1日(日)

会場 高知市文化プラザ かるぽーと

<http://www.convention-w.jp/chushi54-2015>

学会事務局 〒783-8505 高知県南国市岡豊町小瀬185-1 TEL:088-866-5811 (代) E-mail:chushi54@kyodo-mice.jp
 運営事務局 株式会社共同 〒701-0205 岡山県岡山市南区妹尾2346-1 TEL:086-250-7681 FAX:086-250-7682